

# 国際競争力を有する 「和の滞在型スノーリゾート」形成に向けて

資料 2 - 2



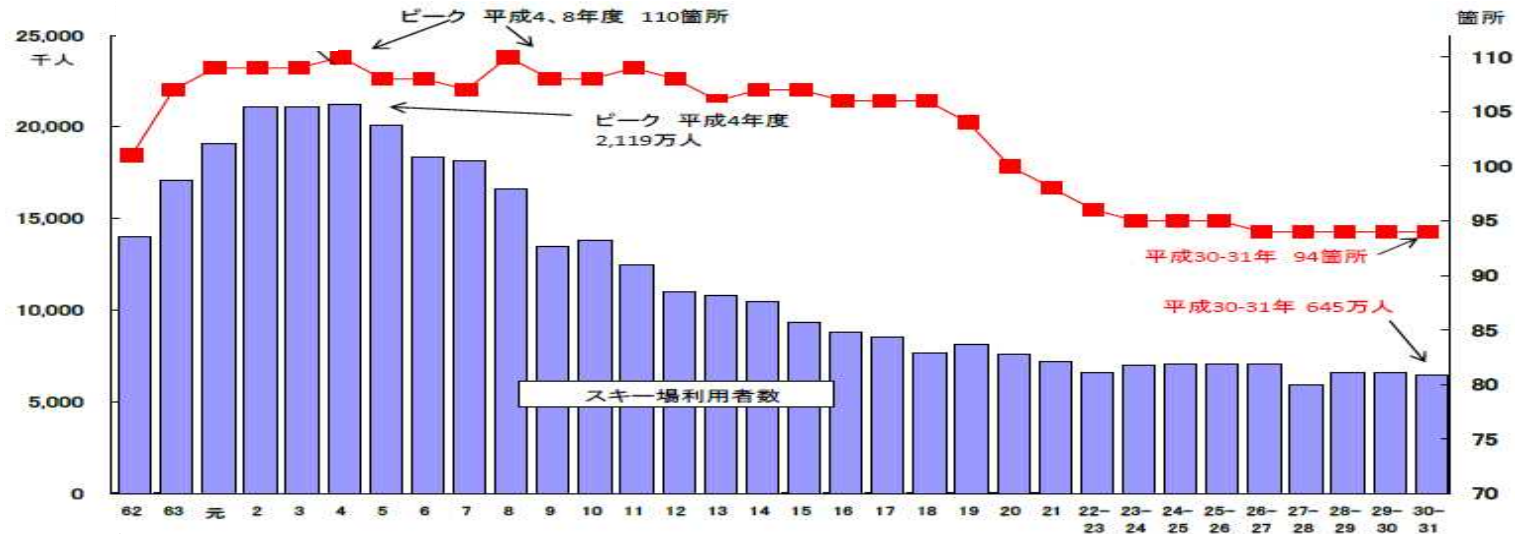
(注) ここは六本木ではありません。野沢温泉です。

合資会社酒屋旅館 代表社員  
長野県 野沢温泉観光協会インバウンド部会長  
森 晃

# 1.野沢温泉 スキー場利用者・インバウンド 推移と傾向

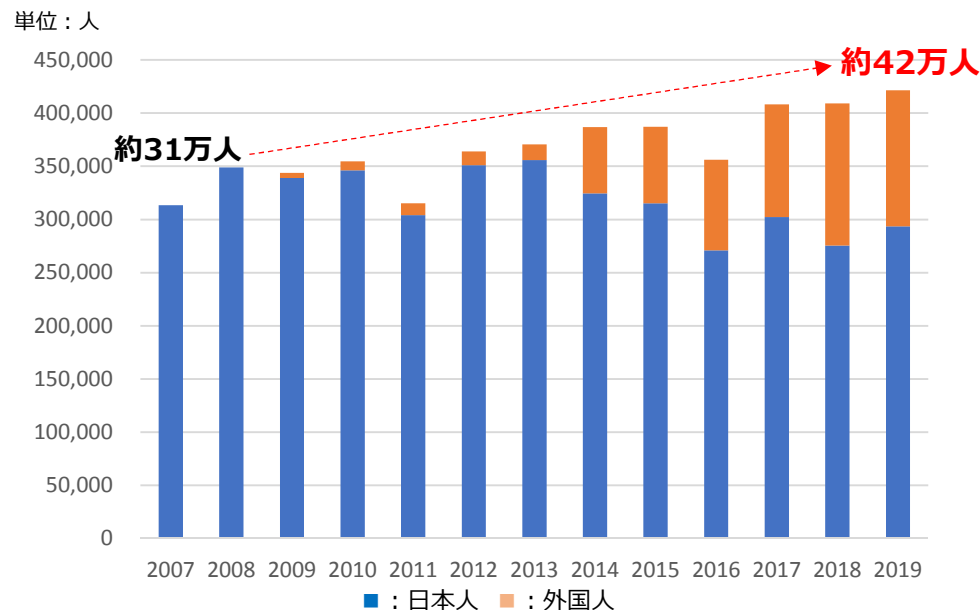
長野県内のスキー場利用者数は、ピーク時の**2,119万人**から**645万人**となり、**約7割減少**

＜長野県スキー場利用者の推移＞



【出典】平成30-31年 スキー・スケート場の利用者統計調査結果について  
(長野県観光部山岳高原観光課作成)

＜野沢温泉スキー場利用者の推移＞



一方、野沢温泉スキー場の利用者数は  
約**31万人**から約**42万人**へ**35%増加**  
(2007年) (2019年)

うち、インバウンド客は **約13万人**

約6割を占めるオーストラリアは  
長期滞在する (平均5.4泊)



人口3,600人の野沢温泉に、1日平均2,000人の外国人が宿泊し、温泉街で食事や買い物などを楽しむと・・・



お祭りではなく、通常の平日の夜です。 2

## 2.インバウンドへの対応・取組

### (1) 泊食分離への対応

欧米豪からのインバウンドは、宿泊先とは別の施設で食事をする「**泊食分離**」が一般的

- 宿と飲食店相互の送客、宿が飲食店の予約を代行
- メニューの多言語化
- 外国人スタッフの活用
- キャッシュレス決済導入に向けた説明会実施

### (2) 外湯利用の促進

温泉街にある13ヶ所の外湯を、村人と同じようにインバウンドにも楽しんでもらうため、英語での外湯の入浴マナー周知や湯巡りマップを配布



<英語でのマナー案内>



<村人とともに外湯を楽しむ外国人>



<足湯に入る外国人>

### (3) 昔ながらの村の生活・文化の紹介

村人がガイドを務めて、村での生活や風習、祭りなどを紹介する散策ツアー(30分)を毎日実施



<散策ツアーに参加する外国人>

### 3. 提言

---

## 「日本の村って、おとぎの国にいるようで最高だ！」

海外のお客様からいただく最高の褒め言葉ですが、  
現状は、おとぎの国にほど遠く、  
バブルの負の遺産を未だに引きずった景観のままです。

年々進化を続ける海外リゾートに対抗するため、  
スキー場への投資だけではなく、「街並み整備」も同時に不可欠です。

## 「和の滞在型スノーリゾート」形成に向けて

### ①住民の合意形成を可能にするマスタープラン作成

老朽化したスキー場整備に加え、温泉街の整備に  
多額の投資をすることは、小さな村では大変難しいので、

### ②街並みの整備に向けた行政（国）の財政支援

をお願いします。